

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査等の結果を含む記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報、診療記録等を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	神経難病患者におけるリハビリテーションが身体機能、日常生活動作能力に及ぼす影響
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 愛媛大学大学院医学系研究科 臨床薬理学 講師 安藤利奈
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2035年3月31日
対象となる方	2020年4月から2030年3月末までに臨床薬理神経内科および脳神経内科よりリハビリテーション依頼があった患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 年齢、性別、身長、体重、合併症および既往歴、社会的背景(入院・外来区分、生活環境等)、問診内容(主訴、満足度等)、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、理学療法評価(身体機能、日常生活動作能力等) など等
研究の概要 (目的・方法)	当院において臨床薬理神経内科及び脳神経内科よりリハビリテーションの依頼を受けた神経難病患者を対象に、日常診療の一環として実施されている理学療法および作業療法によるリハビリテーションについて、過去の診療情報を用いた後ろ向き解析によりその実態を把握し、身体機能および日常生活動作(activities of daily living: ADL)等の評価項目との関連を明らかにすることである。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重

	<p>に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院リハビリテーション部 戸田淳平</p> <p>791-0295 愛媛県東温市志津川 454</p> <p>Tel: 089-960-5723</p>